

2019年度 地域密着型金融の取組結果について

2020年4月



I. 全体的な取組内容

1. コンサルティング機能の発揮

- 2019年度はめまぐるしく変化する経営環境へのフレキシブルな対応等、経営力の強化を主眼として、経営者のビジョンや哲学をお聞きしながら販路拡大、人材育成・事業の競争力など、金融サービスに止まらない、情報サービス業として、企業価値を高めるお手伝いを実施しています。経営改善や事業再生支援が必要なお客さまとは、経営者との面談を重ねることで情報の共有化を図ったうえ、事業内容が良化するための支援に取り組んでいます。
- 外部機関との連携による事業再生支援や創業・新事業支援の強化、国内外販路拡大への支援に積極的に取り組みました。
- 地域企業の喫緊の課題の一つでもある事業承継や資産承継・相続などについては、相談体制を充実させました。将来において安心していただけるようご提案内容の質的向上や体制面の強化をしていきます。

2. 地域の面的再生への積極的参画

- 根釧地域における産・学・官・金による取り組みとしてNoMaps釧路・根室に参画しました。地域の課題解決へのアプローチや、スタートアップ企業の取り組み、北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点による研究成果の紹介により、IT・AI×農業、IT・AI×水産業、IT・AI×観光業等、先端技術の活用による新たな可能性を探る取り組みを行う事で、地域の事業者との共同事業や地域課題の解決にむけた社会実装への発展をめざしています。
- NoMaps釧路・根室では、高校生ビジネスコンペティションも行い、7校12チームによる発表を行ないました。地域資源を活用した新たなビジネスや地域の活性化に向けたプレゼンテーションを行なってもらいました。地域に対する愛着と社会で活躍できる人材教育に取り組んでいます。
- 地域の若手経営者・後継者を対象として、組成されている創新会（i3フォーラム）において、地元中標津町出身の起業家、(株)ネオキャリア代表取締役の西澤亮一氏を招聘し、講演会を開催しました。地域の若者や経営者および次代の経営者の支援・育成に主眼を置いて、地域の「ひと」と積極的に関わる取り組みを実施しています。
- オホーツク文化の発信に向けて、万葉集研究の第一人者でもある中西進氏をお招きして、講演会を開催しました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- ディスクロージャー誌は、本編と資料編に分け、ミニディスクロージャー誌を廃止しました。当金庫の取り組みを理解していただくために、幅広いお客さまにディスクロージャー誌をお届けするようにしました。
- ビジネスレポートの内容を刷新し、新たに「みらいレポート」としてお客さまに情報をお届けするようにしました。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

1. コンサルティング機能の発揮

取組事項	実 施 内 容
➤事業者との真摯な対話を通じた企業価値と持続可能性の評価の実施	・経営者のビジョン・哲学・考え方を聞き取り、環境の変化に対応すべく、事業の競争力や成長性など企業の価値に関する情報を蓄積し、ニーズに対する処方箋を設定することで真に「寄り添う」態勢を整備した。
➤起業セミナーなどを通じた創業・新事業支援	・起業・創業支援実績：14件、新事業・新分野進出支援実績：11件
➤価値創造型の経営相談やコンサルティングの実施	・「みらい創造サポート」の受付、公的申請支援のサポートを実施するなど、幅広い情報提供を実施。
➤国内外への販路開拓支援	・信金中央金庫主催の海外販路拡大に向けた商談会を海外バイヤーを招いて開催。釧路・根室地域「食のブランド・ステップアップ相談・商談会」も行い、当金庫のお取引企業間のビジネスマッチングの実施。
➤ニーズを踏まえた円滑な事業承継の取り組み	・事業承継関係件数：19件、資産承継・相続受付件数：102件
➤事業再生や経営改善に向けた取り組み	・「経営サポート強化支援先」13社、「特別対応先」2社を選定。経営会議への参画による経営ガバナンスへの指導、生産体制の見直し、販路開拓への同行などより踏み込んだ支援を実施。
➤産学官金連携による技術課題への対応	・北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点の研究成果の発信

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

2. 地域の面的再生への積極的な参画

取組事項	実施内容
▶地域資源等の発信に向けた地域内連携の取り組み	・ KONSEN(根釧)魅力創造ネットワークの事業として、観光資源の利活用の探究、商談会を通じて地域の「食」資源・文化を発信。
▶新たな産業の創出に向けた取り組み	・ シーニックバイウェイのルート申請において候補ルートとして認定を受ける。
▶地域内企業の人財育成支援	・ オホーツク文化の発信に向けて万葉集研究の第一人者である中西進氏をお招きし、大地みらい基金と根室教育委員会の共催による講演会開催。
▶産学官金連携事業活用	・ NoMaps釧路・根室の参画を通じて研究機関やIT事業者などの技術情報の提供や交流機会を創出。
▶地方自治体との関係性および連携強化	・ NoMaps釧路・根室「高校生ビジネスコンペティション」への参画を通じ、地域の将来を担う7校12チームの高校生に地域課題の解決に向けた考察や発表の機会を通して社会で活躍できる人材の育成に取り組む。
▶地方創生総合戦略実施への関与・協力	・ 北海道大学との連携による北大出前教室を「釧路駅前商店街のミライを考える」をテーマに実施。 地域医療を知る機会として、札幌医科大学と連携しメディカルカフェを開催。
	・ 「音別ふき路団」に対する地域資源を活用したビジネスモデル構築への支援を継続。
	・ 各自治体の地方創生委員会等へ店長が参画。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

取組事項	実施内容
➤ ディスクロージャー誌の充実やメディアを通じた広報活動	・ ディスクロージャー誌において、記念事業として開催したミュージカル公演や高校生を対象とした人財育成プログラムなど当金庫の取組みについての掲載を拡充。本編と資料編に分割のうえミニディスクロージャー誌を廃止し、幅広いお客さまにディスクロージャー誌（本編）をお届けできるように変更。
➤ ビジネスレポートなど地域経済の情報発信を通じた取り組み	・ ビジネスレポートを刷新し、「みらいレポート」として発刊完了。今後四半期ごとに発刊し幅広い情報提供を行っていく。 ・ 知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウエイルート運営者会議の代表として関わり、候補「ルートマップ」を作成する等、観光資源の魅力向上のため、各関係機関と連携。 ・ 根室とジャズの繋がりを通じて根釧地域と道央圏を繋ぐ継続企画として、「SAPPORO CITY JAZZ」へ「食」を通じての協賛を実施。

Ⅲ. 2019年度の取組実績について

<地域密着型金融の取り組み>

目標項目	目標件数	2019 年度実績
① 課題の把握・分析による経営相談（「みらい創造サポート」）	50 件	56 件
② 事業者との対話を通じた企業価値評価（経営サポート強化支援）	22 件	15 件
③ 専門家派遣制度の活用	10 件	0 件
④ 公的施策の活用、外部支援機関連携支援	30 件	23 件
⑤ 事業承継・相続等の相談受付	60 件	121 件
⑥ 商談会・ビジネスフェアなどによるビジネスチャンスの創出	3 回	4 回
⑦ 自治体・経済界との「金融懇談会」の実施	5 回	2 回
⑧ 地域企業の人財育成支援	7 件	9 件
⑨ 産学官金連携事業の活用	7 回	10 回



<http://www.daichimirai.co.jp>